

## 事例-4

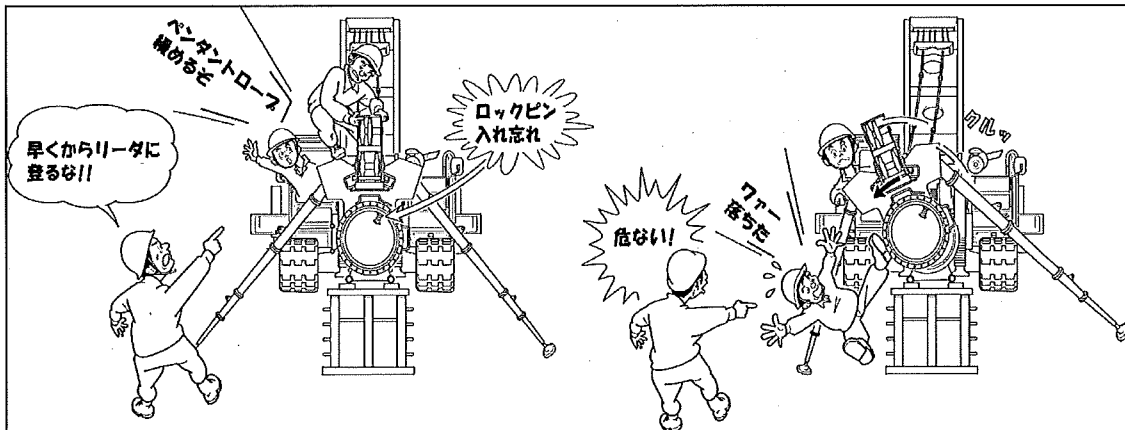
### 事故内容

くい打ち機の地組みリーダ部からの作業員転落

現場施工終了後、リーダを倒し架台上に設置した。

ステーを取り外すためにホルダ部に作業員が上った所で、オペレータがリーダ起伏ロープ(ペンダントロープ)を緩めたら、急にホルダ部分が右側に傾いて、作業員が慌てて地上に飛び降りた。

- ・事故現場 : 地中連続壁基礎工事
- ・被災状況 : 足首の骨折



### 事故原因

リーダを倒す前にオペレータが『ホルダロック』を入れ忘れていた。

### 対策

- ①オペレータは、リーダを倒す前に『ホルダロック』が確実に入っているか、リーダを回転操作して、【ステーロックは入り、リボルバロックは一旦抜き状態にする】、確認する。  
確認後、『リボルバロック』を、もう一度『入り』にしてから、リーダを倒すこと。
- ②作業員は、ペンダントロープを緩める前にホルダロックピンが入っていることを目視で確認する。

### 関係資料

- ①各機種の取扱説明書 ⇒ 運転・操作項目